

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01547小清水町
自治体区分	都道府県

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
01547小清水町	③学校と家庭の課題	03 読書習慣の定着・読書体験の充実	日常的な読書習慣がない児童生徒が増えており、余暇活動の中でもスマホ利用やゲーム等、読書以外の時間が長くなっている。魅力的な図書を紹介し、読書習慣の定着を目指したい。	読書ボランティアが中心となり、年間に数回、読み聞かせの体験活動を実施している。	・小学生の保護者を中心に10名程度の読書ボランティアスタッフを募集し、年間3回の全校読み聞かせを行う。 ・読み聞かせ動画を作成し、全学級で児童に視聴していただく。	図書館や図書室の利用が増加し、日常の読書習慣が定着した児童生徒が増える。	1日の読書時間の平均時間が1時間以上の児童の割合(小学6年)全国学力学習状況調査	35	%	50	-	全国学力学習状況調査の調査項目が変わったことにより、本年度の実績値を図ることができなかった。教職員及びボランティアスタッフからは、自主的に読書に取り組む児童が増えているという意見が多く、読み聞かせ活動の継続が本事業の目標に対し、一定の効果があったと思われる。また、町立図書館においても読み聞かせやお話し会を開催している。地域と学校の連携を深め、子どもの読書習慣の定着を目指した活動を継続することが重要であると考えている。	教育委員会 北海道小清水町

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。